

# 第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず<企画シート作成上の注意>をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) アイチダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) フルカワチトセゼミナール
愛知大学	経営学部	古川千歳ゼミナール

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) スリンキー	フリガナ) サイジョウユウヤ	5
SLINKY	西條佑耶	

## 研究テーマ（発表タイトル）

農業という選択肢

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

今日の我が国の農業現場は、就業人口の減少や高齢化に伴って様々な問題が生じている。その一例としては後継者不足による農地減少、最新技術の活用の難化、食料自給率の低下などが挙げられる。この現状が続いていけば、我が国の農業は衰退の一途をたどってしまう。私たちはこの現状を解決するために若者の就農者を増やすことに着目した。しかし、農業は若者の職業の選択肢の中に入っていないのが現状である。そこで、私たちは若者が農業を職業の選択肢に入れるためには、まず若者に興味を持ってもらうことが重要だと考えた。これらを踏まえたうえで私たちは農家へのアンケートやインタビュー、論文、事例を調査し、解決策を探っていった。そして、ここから得られた情報から私たちは新しい農業の普及方法を提案していく。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

古来、我が国は農業大国であった。しかし、近年我が国の農業就業人口は年々減少しており、高齢化も進んでいる。これに伴って農地減少や最新技術の活用の難化、食料自給率の低下などの問題が生じている。だが、農業の市場は常に一定の需要があり、無くしてはならないものである。そのため、政府はこの問題を解決するために様々な政策を打ち出している。また、以前は労力を必要としていた農業も農機具の機械化によって改善されてきている。だが、これらの改善がありながらも減少が進んでいる現状は、農業の魅力を伝える場が少ないことに起因すると私たちは考えた。そして、私たちはこの現状を踏まえたうえで研究を進めていく。



### 3. 研究テーマの課題

私たちの研究の課題は若者の農業に対する意識が低いということである。研究を行っていく上で若者に対してアンケートによる農業の意識調査を行った。その結果、7割の方が農業に興味がないと回答した。その理由としては、「大変そう」「天候に左右される」「虫がいるから」などが多く挙げられた。この結果から農業を若者の職業選択肢の一つに入れてもらうためには、農業に対する意識を変えていくことが重要であると感じた。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私は上記にある若者の農業への意識を変えるにはどうするべきかを討論した。まずは下記の画像をアンケート回答者に提示し、その意識の変化について調査した。その結果約6割の回答者からの意識の変化が見られた。私たちはこの結果から若者は農業に全く興味が無いのではなく、魅力を伝えることができれば職業選択肢の一つに入れてもらえると考えた。これらを踏まえて私たちは農業の魅力を伝える場として、キッズニアのようなテーマパーク型職業体験施設に農業体験ブースを設けることを提案した。



### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

#### 1. 実際に農業を行っている方にインタビューを実施

調査目的：実際の農業の現状を知るため

調査場所：オーガニックタぐれ市、尾関農園

調査実施日：8月7日、9月8日

回答者数：4

調査手法：インタビュー

#### 2. 若者の農業に対する興味を知るためアンケート調査を実施。

調査目的：若者は農業に対して興味があるのか、また無い場合の理由を明らかにすること

調査対象者：18歳～44歳の男女

調査期間：9月25日～10月9日

有効回答数：133

調査手法：Google フォームを活用し、Web 上でアンケートを実施

### 6. 結果や今後の取り組み

私たちは実施したインタビュー、アンケートから農業の現状や魅力、若者の意識改革の重要性などを知った。農家からお聞きした現状は一部過酷なものがあったがそれ以上に農業には大きな魅力があることがわかった。また、アンケートからも上記のように良い回答が得られたため、この魅力を伝えることができれば農業が若者の職業選択肢の一つになれると私たちは確信している。そして私たちは魅力を伝えるための活動を今回だけで終わらせず、継続していくことで農業人口の減少を食い止めていきたい。

### 7. 参考文献

- ・農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/> (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/> (最終アクセス日 2018 年 6 月 27 日)
- ・イン転職 HP <https://employment.en-japan.com/enquete/report-36/> (最終アクセス日 2018 年 9 月 12 日)
- ・JA 共済 <http://nedan.ja-kyosai.or.jp/> (最終アクセス日 2018 年 6 月 27 日)
- ・農業支援  
[http://www.maff.go.jp/j/new\\_farmer/n\\_syunou/roudou.html](http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html) (最終アクセス日 2018 年 9 月 12 日)
- ・競争激しいテーマパーク市場におけるキッズニアの差別化戦略  
<https://www.advertimes.com/20141216/article177978/> (最終アクセス日 2018 年 10 月 19 日)
- ・KCJ GROUP 株式会社 代表取締役社長兼 CEO 住谷栄之資氏インタビュー  
<http://www.premium-i.jp/series/interview/82216/> (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・教育を通じて企業活動を可視化させる場の提供 東洋大学 社会学部 准教授 園部 靖史 [https://www.j-mac.or.jp/mj/download.php?file\\_id=526](https://www.j-mac.or.jp/mj/download.php?file_id=526) (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・農業・農村の多面的機能と生態系サービスの定義と評価手法 國井大輔著  
[www.maff.go.jp/primaff/kanko/seisaku/attach/pdf/160112\\_sk25\\_03.pdf](http://www.maff.go.jp/primaff/kanko/seisaku/attach/pdf/160112_sk25_03.pdf) (最終アクセス日 2018 年 9 月 12 日)
- ・農地・水・環境保全向上対策の評価と多面的機能支払いへの展望 中谷朋昭著  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/nokei/88/1/88\\_99/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/nokei/88/1/88_99/_article/-char/ja/) (最終アクセス日 2018 年 9 月 12 日)
- ・キッズニアオフィシャルサイト <http://www.kidzania.jp/> (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・農家の平均年収 <https://heikinnenshu.jp/other/nouka.html> (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・KCJ GROUP (株) 会社概要 <https://job.mynavi.jp/20/pc/search/corp111485/outline.html> (最終アクセス日 2018 年 11 月 10 日)
- ・日本経済新聞夕刊 2018 年 10 月 23 日付 日本経済新聞社

● パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

● 発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

**【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ(合同研究会) 大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版權の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。

・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。